

歩いて作る防災マップ

瀬戸・萩山小 児童、住民がラリー



防災マップ作りに取り組む参加者＝瀬戸市萩山小体育館で

瀬戸市萩山小学校と「マップを作る」萩山防災
周辺で八日、地域の危「ラリー」があり、住民
危険箇所を調べ、防災マと小学生ら百人が参加

した。

地域住民でつくる萩
山台地域力向上委員会
の防災・防犯グループ
が初めて企画した。

最初に参加者たちは
八班に分かれて校区内
を歩き、急傾斜地や土
砂災害警戒区域などの
危険箇所のほか、消火
栓や街頭消火器など防
災設備、一時避難場所
などの位置を確認し
た。小学生たちは道幅
の狭い歩道や道路に飛
び出した庭木など大人
が気付きにくい危険箇
所も指摘していた。

その後、萩山小体育
館に移動し、班ごとに
防災マップ作りに取り
組み、ラリーで確かめ
た危険箇所などを記

入。昼食では災害時用
非常食のドライカレー
を作って全員で試食し
た。

実行委員長を務めた
小原精二さん(七三)は
「子どもたちにもいい
経験になったと思う。
今後も引き継いでいけ
たらいいと思います」
と手応えを感じてい
た。
(中西康)

朝刊
中日新聞